

にほんごがっきゅうつうしん 日本語学級通信

えどがわくりつかさいちゅうがっこう
江戸川区立葛西中学校

にほんごがっきゅうつうしん だい 13 号
日本語学級通信 第13号

れいわ ねん がつ にち
令和6年1月25日

日本語学級通信の前号では何人かの「目標」を紹介しました。皆さんも自分の夢に向かって目標をもっているでしょう。目標達成のためには計画を立て、行動しなければなりません。目標のための行動ができていますか。進路決定という大きな目標が中学生にはあります。1、2年生も3年生になってからではなく、今から「どうするか」を考えるとよいと思います。日本での生活(もちろん学習も)で困らないためにも、日本語の勉強をして、力をつけましょう。



日本語学級では「日本語」が共通語です。自分の知っている日本語を使って話をしているので、日本語に困っていないように見られてしまうかもしれません。でも、実際は自分の考えをうまく表現できる人は多くはありません。

高校に行くためのテストの中には、作文や面接というものがあります。普段の日本語の学習をしっかりとやって、練習を何回もすれば上手にできます。しかし、それをやらなければうまくできません。1・2年生には3年生になって慌てないためにも、今からできることをやり、できることを増やしてほしいです。

やっておくとよいことをまとめました。

★英語検定、漢字検定、数学検定など資格試験は積極的に受けよう

受験する高校によっては有利になることもあります。

★作文練習を積極的にやろう

高校受験で出す学校もあります。また、日本で生活するのですから、日本語で文章を書くことがあります。苦手な人も多いですが、練習しないといつま



でもできません。助詞の練習にもなります。何回も練習しましょう。

★漢字問題、計算問題をしっかりとやろう

都立高校入試問題は国語の問題は漢字から、数学は計算から始まります。時間があったら、少しでも多くの問題を解くとよいでしょう。



せつぶん がつみっか 節分(2月3日)

節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日です。邪気祓いとして、「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをしたり、恵方巻を食べたりします。悪いもの(鬼)を追い払い、良いもの(福)を呼び込みます。鬼を退治する時には「魔を滅する」という語呂合わせから、豆をまくようになったとのことです。豆を自分の歳の数だけ食べると、体が丈夫になって病気になるににくいと言われています。節分では、鯛の頭をひいらぎえださげんかんさきかざかんしゅうゆうめいにほんごがっきゅういぐちイラストが貼ってあります。きつい臭いは厄除けや魔除けの効果があるとされ、「焼いて臭いが強くなった鯛を飾ることで、鬼が寄り付かない」といった意味があります。また、ひいらぎとがははおにめさすといわれており、厄除けに良いとされています。

節分という言葉には、「季節を分ける」という意味があるのだそうです。昔の日本では、春は一年のはじまりとされ、特に大切にされたようです。そのため、春がはじまるまえのひ、つまりふゆはるを分ける日だけを節分と呼ぶようになったそうです。

ちなみに暦の上で春がはじまる日を「立春」(2月4日ごろ)と呼びます。

※ 暦…時間の流れを日付に当てはめたカレンダーのようなもの

